

第2章

テレビメディアによる障害者スポーツ情報発信 環境調査

調査概要

(1) 調査目的

リオ 2016 パラリンピックの開催にあわせ、障害者スポーツの各種マスメディア（テレビ・新聞など）での露出状況（量的、番組傾向、トピックスなど）を把握し、影響度や障害者スポーツの社会的認知度との相関を図ることを目的とする。

(2) データ抽出内容

放送日時、テレビ局、番組名、放送時間帯、開始時刻、終了時刻、番組カテゴリー、番組内コーナーなどの項目でデータを抽出する。

(3) データ抽出条件

東京都内での地上波デジタル（メインのみ）の放送環境を有するテレビ局の東京エリア放送分のデータをもとに、検索対象ワードとして、①「パラリン」、②「障害」AND「スポーツ」、③「障がい」AND「スポーツ」の3条件を設定した。①について、「パラ」と設定した場合、パラリンピック関連以外のワードが大量に対象となってしまうために、本調査では、「パラリンピック」「パラリンピアン」のいずれかのワードが対象となるように、「パラリン」を検索対象ワードに設定した。なお、対象となったデータ件数は以下のとおりである。

	①「パラリン」	②「障害」AND「スポーツ」	③「障がい」AND「スポーツ」
北京大会	1,024 件	59 件	1 件
ロンドン大会	1,739 件	25 件	1 件
リオ大会	3,336 件	51 件	17 件

(4) データ抽出期間

	開催前(31 日間)	開催中(12 日間)	開催後(31 日間)
北京大会	2008/8/6～2008/9/5	2008/9/6～2008/9/17	2008/9/18～2008/10/17
ロンドン大会	2012/7/29～2012/8/28	2012/8/29～2012/9/9	2012/9/10～2012/10/9
リオ大会	2016/8/7～2016/9/6	2016/9/7～2016/9/18	2016/9/19～2016/10/18

(5) データ提供社

株式会社エム・データ (M Data CO.,LTD)

住所：東京都港区虎ノ門 1-16-16 虎ノ門一丁目 MG ビル 9F

TEL：03-3519-7060 URL：http://mdata.tv

(6) 集計・分析

株式会社サーベイリサーチセンター 調査事務局

住所：東京都荒川区西日暮里 2-40-10

TEL：03-3802-6775 URL：http://www.surece.co.jp/

要約

- ◆ 北京 2008 パラリンピック（以下、北京大会）、ロンドン 2012 パラリンピック（以下、ロンドン大会）、リオ 2016 パラリンピック（以下、リオ大会）の放送時間は、北京大会が 56 時間 45 分 18 秒、ロンドン大会が 78 時間 14 分 15 秒、リオ大会が 234 時間 36 分 59 秒と、リオ大会は北京大会との比較で約 4 倍の放送時間であった。
- ◆ 大会の「開催前」「開催中」「開催後」の放送時間をみると、リオ大会は、「開催前」では北京大会との比較で約 4 倍の増加、「開催中」では、北京大会との比較で約 2 倍の増加、「開催後」では、北京大会との比較で約 9.5 倍の増加となった。
- ◆ 地上波テレビ放送局（以下、テレビ局）別の放送時間は、「NHK 総合」（129 時間 6 分 58 秒）が最も多く、ついで、「NHK 教育」（73 時間 13 分 35 秒）、「TBS」（56 時間 27 分 1 秒）であった。大会別に 20 時間以上放送しているテレビ局は、北京大会、ロンドン大会では「NHK 総合」「NHK 教育」の 2 局、リオ大会では「NHK 総合」「日本テレビ」「TBS」「フジテレビ」「テレビ朝日」の 5 局であった。「NHK 総合」でのリオ大会の放送時間が、北京・ロンドン大会との比較で約 4 倍の 80 時間以上に急増したのが特徴的であった。
- ◆ 番組カテゴリー別の放送時間は、「情報／ワイドショー」（110 時間 18 分 20 秒）が最も多く、ついで、「ニュース／報道」（104 時間 2 分 4 秒）、「スポーツ」（92 時間 18 分 43 秒）であった。「情報／ワイドショー」「ニュース／報道」「ドキュメンタリー」「バラエティー」での放送時間が北京・ロンドン大会からリオ大会で急増した。「スポーツ」の放送時間は、ロンドン大会、リオ大会でほとんど変化はなかった。
- ◆ テレビ局の番組カテゴリー別に 10 時間以上放送したのは、北京大会は「NHK 教育」の「スポーツ」、ロンドン大会は「NHK 総合」と「NHK 教育」の「スポーツ」、リオ大会は、「NHK 総合」の「ニュース／報道」「スポーツ」、「日本テレビ」の「情報／ワイドショー」「ニュース／報道」、「TBS」の「情報／ワイドショー」、「フジテレビ」の「情報／ワイドショー」「ニュース／報道」、「テレビ朝日」の「情報／ワイドショー」「ニュース／報道」であった。リオ大会における「TBS」の「情報／ワイドショー」が 30 時間を超えたのが特徴的であった。
- ◆ 番組内で取り上げられたコーナー別の放送時間は、「スポーツ」（224 時間 19 分 50 秒）が最も多く、ついで、「政治・国際」（86 時間 2 分 11 秒）、「暮らし」（34 時間 45 分 3 秒）であった。北京大会、ロンドン大会でほとんど取り上げられなかった「政治・国際」の放送時間が、リオ大会で 80 時間以上に急増した。要因は、リオ大会前に話題になったロシアのドーピング問題に関する報道であった。

調查報告

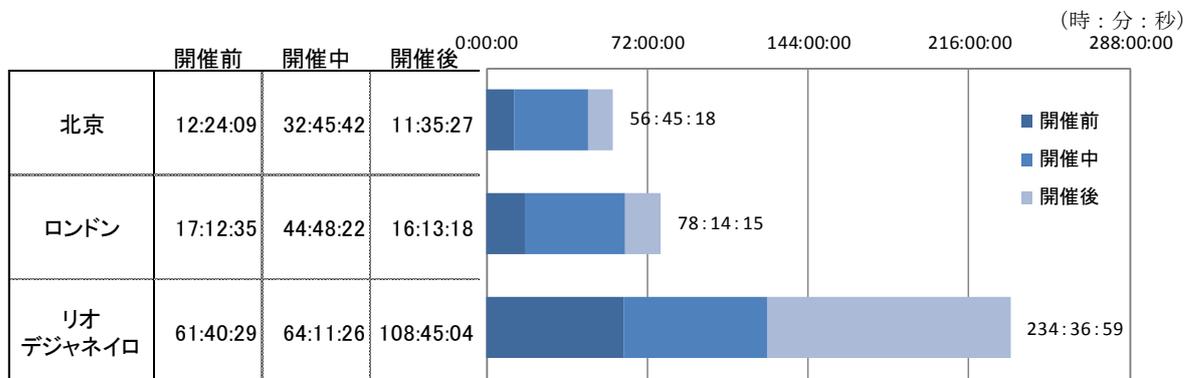


1. メディア放送時間（単純集計）

北京大会、ロンドン大会、リオ大会の地上波テレビ放送をパラリンピックの開催前 1 ヶ月、開催中、開催後 1 ヶ月で見ると、3 大会の合計放送時間は、369 時間 36 分 32 秒であった。

1) 過去 3 大会の放送時間の変遷

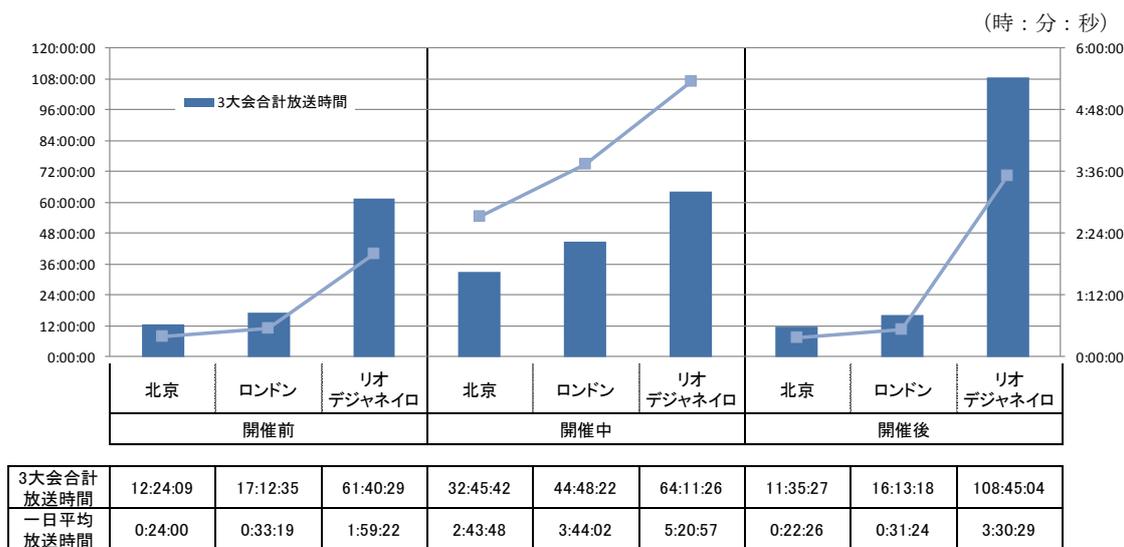
大会ごとでは、北京大会が 56 時間 45 分 18 秒、ロンドン大会が 78 時間 14 分 15 秒、リオ大会が 234 時間 36 分 59 秒と、リオ大会では、北京大会の約 4 倍の合計放送時間となった(図表 2-1)。「開催前」「開催中」「開催後」にわけて、過去 3 大会の放送時間をみると、いずれの期間ともリオ大会が最も多かった。



図表 2-1 過去 3 大会の放送時間

2) 開催前・開催中・開催後別の放送時間

パラリンピックの「開催前」「開催中」「開催後」にわけて、合計放送時間と一日平均放送時間についてみた(図表 2-2)。「開催前」「開催後」は 31 日間、「開催中」は 12 日間として、一日平均放送時間を算出した。「開催前」は、北京大会からロンドン大会にかけて一日平均放送時間は微増であったが、リオ大会にかけて、24 分から 1 時間 59 分 22 秒と約 4 倍増であった。「開催中」は、北京大会からリオ大会にかけて倍増した。「開催後」では、北京大会からロンドン大会にかけては微増であったが、リオ大会にかけて、22 分 26 秒から 3 時間 30 分 29 秒と約 9.5 倍増となった。

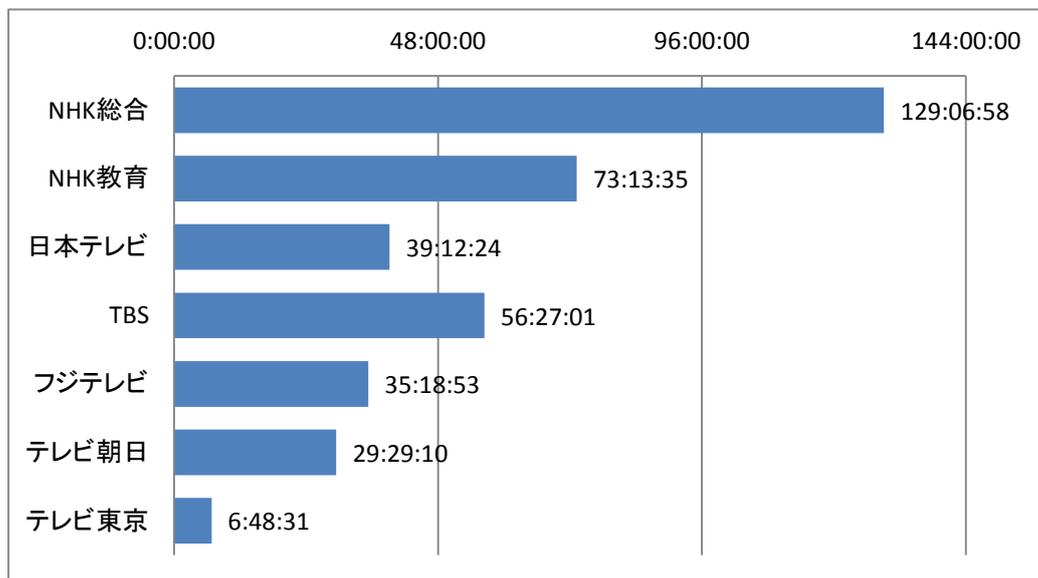


図表 2-2 大会開催前後の放送時間

3) テレビ局ごとの放送時間

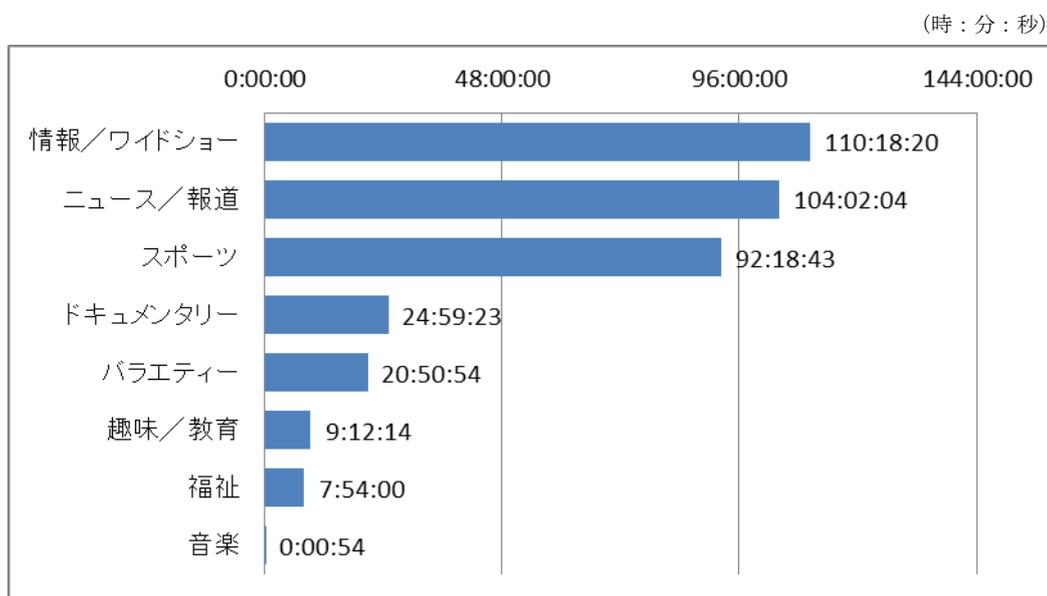
テレビ局ごとに放送時間についてみると、「NHK 総合」が 129 時間 6 分 58 秒と最も多く、ついで、「NHK 教育」の 73 時間 13 分 35 秒、「TBS」の 56 時間 27 分 1 秒であった(図表 2-3)。

図表 2-3 テレビ局の放送時間(過去 3 大会合計) (時：分：秒)



4) 番組カテゴリー別にみる放送時間

番組カテゴリー別に放送時間をみると、最も放送している番組カテゴリーは「情報／ワイドショー」（110時間18分20秒）で、ついで、「ニュース／報道」（104時間2分4秒）、「スポーツ」（92時間18分43秒）であった（図表2-4）。



図表 2-4 番組カテゴリー別にみる放送時間(過去3大会合計)

注) 番組カテゴリーは番組自体の分類を指し、番組内コーナーは番組内で取り上げたコーナーのことを指す。例えば、ニュース番組内のスポーツコーナーでパラリンピアンについての話題を取り上げた場合、番組カテゴリーは「ニュース／報道」、番組内コーナーは「スポーツ」となる。

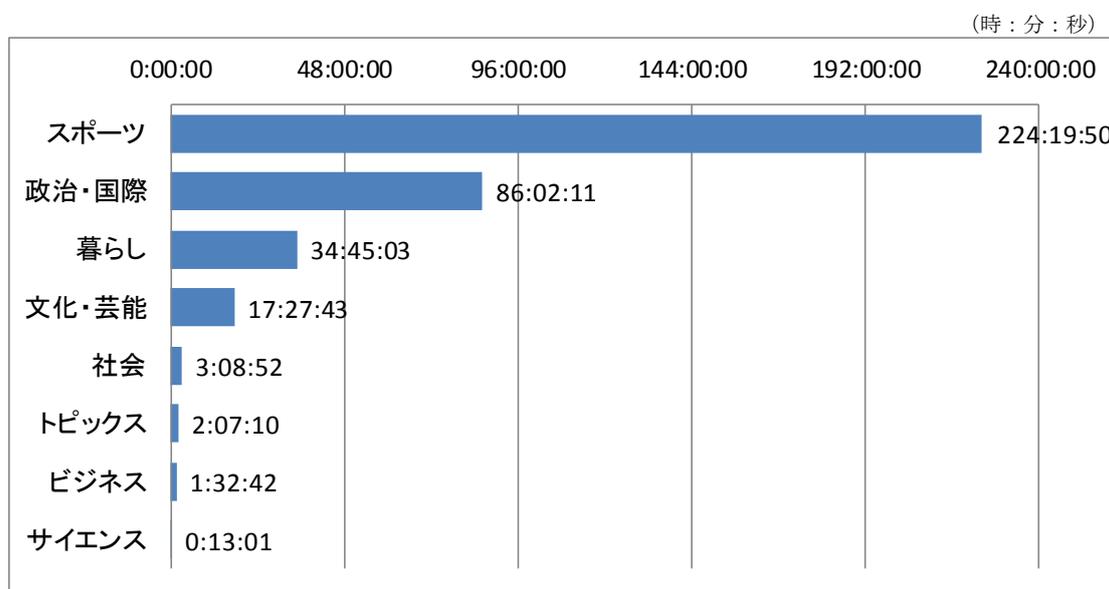
参考までに、番組カテゴリー別に番組名をまとめると、図表2-5のとおりである。

番組カテゴリー	『番組名』(テレビ局名)
情報/ワイドショー	『スッキリ!!(日本テレビ)』『ZIP!(日本テレビ)』 『みのもんたの朝ズバ!!(TBS)』『ひるおび!(TBS)』 『めざましテレビ(フジテレビ)』『直撃LIVEグッディ!(フジテレビ)』 『ワイド!スクランブル(テレビ朝日)』など
ニュース/報道	『おはよう日本(NHK)』『ニュースウオッチ9(NHK)』 『NEWS ZERO(日本テレビ)』『news every.(日本テレビ)』 『Nスタ(TBS)』『みんなのニュース(フジテレビ)』 『グッド!モーニング(テレビ朝日)』など
スポーツ	『サンデースポーツ(NHK)』『Going! Sports & News(日本テレビ)』 『S☆1(TBS)』『スポーツLIFE HERO'S(フジテレビ)』 『Get Sports(テレビ朝日)』『SPORTSウォッチャー(テレビ東京)』など

図表 2-5 番組カテゴリー別にみる主なテレビ番組

5) 番組内コーナー別にみる放送時間

番組内で取り上げられたコーナー別に放送時間についてみると、最も取り上げられることが多かったコーナーは「スポーツ」(224 時間 19 分 50 秒)で、ついで、「政治・国際」(86 時間 2 分 11 秒)、「暮らし」(34 時間 45 分 3 秒)であった(図表 2-6)。



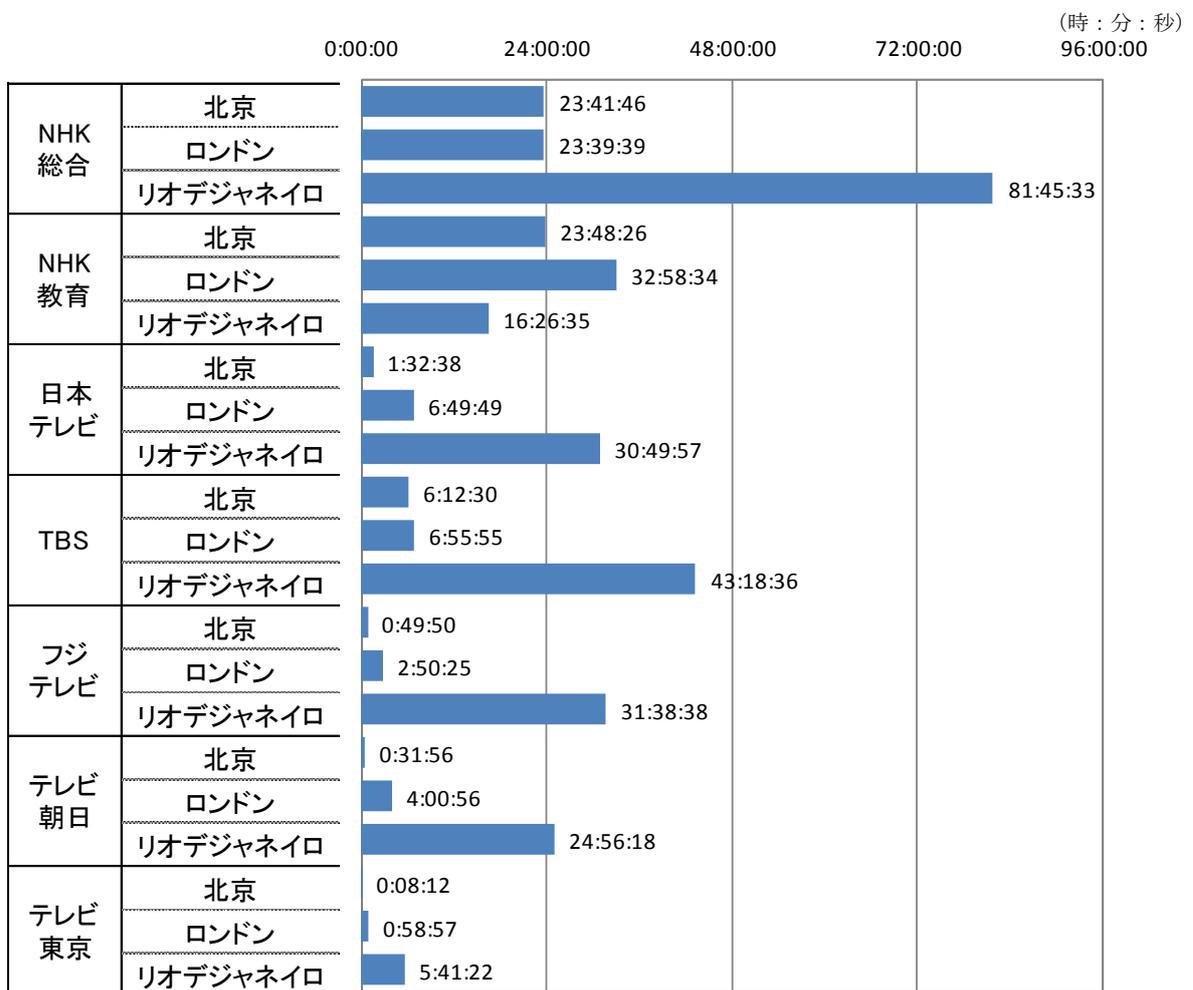
図表 2-6 番組内コーナー別にみる放送時間(過去 3 大会合計)

注) 番組カテゴリーは番組自体の分類を指し、番組内コーナーは番組内で取り上げたコーナーのことを指す。例えば、ニュース番組内のスポーツコーナーでパラリンピアンについての話題を取り上げた場合、番組カテゴリーは「ニュース／報道」、番組内コーナーは「スポーツ」となる。

2. メディア放送時間（クロス集計）

1) テレビ局ごとにみた3大会の放送時間

テレビ局ごとに3大会の放送時間をみると、「NHK 教育」以外のテレビ局では、リオ大会が最も多かった（図表 2-7）。20 時間以上放送したテレビ局を大会別にみると、北京大会、ロンドン大会では「NHK 総合」「NHK 教育」の2局、リオ大会では「NHK 総合」「日本テレビ」「TBS」「フジテレビ」「テレビ朝日」の5局であった。また、「NHK 総合」の放送時間が、北京大会、ロンドン大会からリオ大会では約4倍の80時間以上に急増したのが特徴的であった。

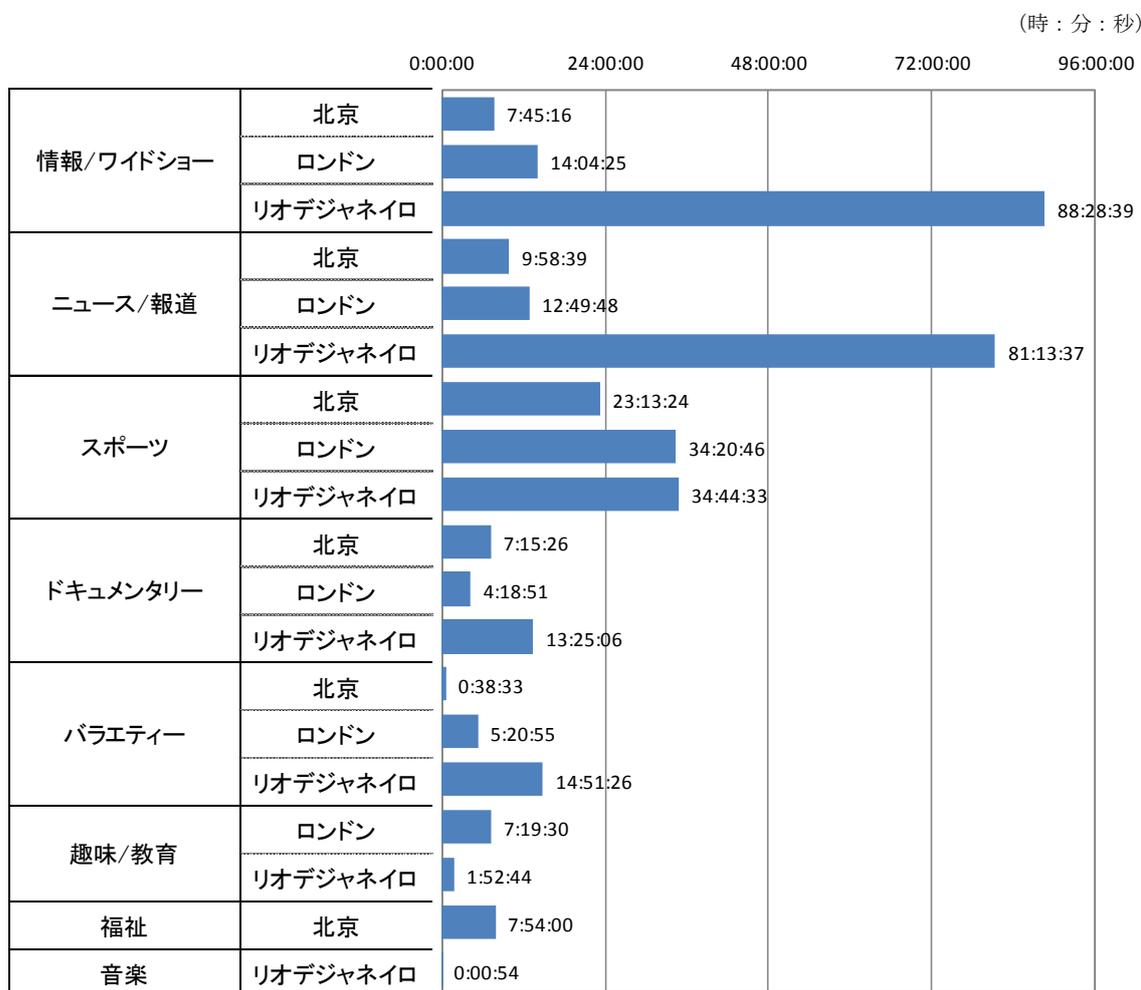


図表 2-7 テレビ局別にみる大会別放送時間

2) 番組カテゴリー別にみる3大会の放送時間

番組カテゴリー別に3大会の放送時間をみると、「情報／ワイドショー」「ニュース／報道」「ドキュメンタリー」「バラエティー」での放送時間がリオ大会で急増した一方、「スポーツ」の放送時間は、ロンドン大会、リオ大会での変化はほとんどなかった（図表2-8）。

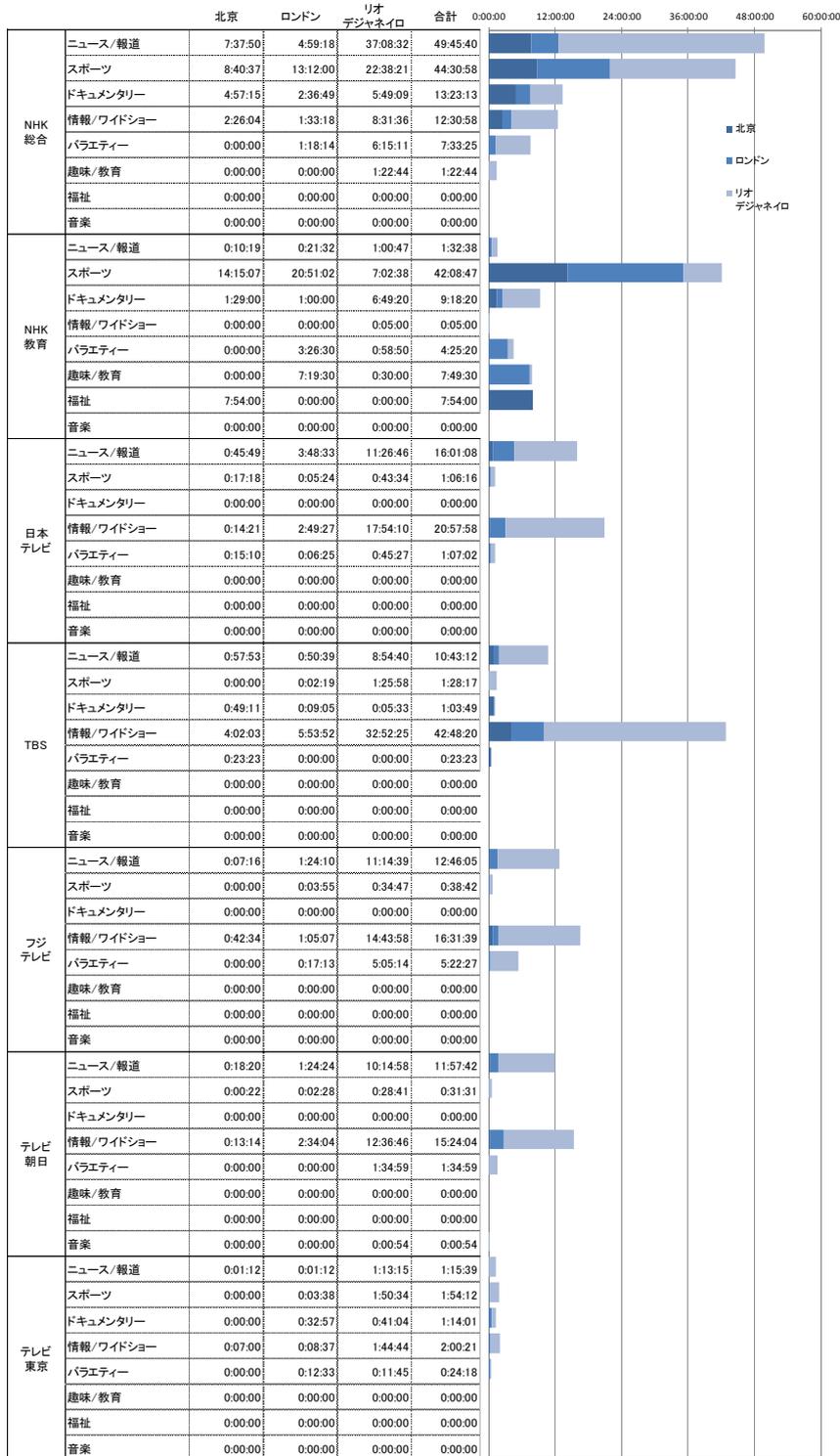
3大会の放送時間をみると、各テレビ局で番組カテゴリーはさまざまであった（図表2-9）。10時間以上の放送時間であったテレビ局の番組カテゴリーは、北京大会ではNHK教育「スポーツ」、ロンドン大会ではNHK総合とNHK教育「スポーツ」であったが、リオ大会では、NHK総合「ニュース／報道」「スポーツ」、日本テレビ「情報／ワイドショー」「ニュース／報道」、TBS「情報／ワイドショー」、フジテレビ「情報／ワイドショー」「ニュース／報道」、テレビ朝日「情報／ワイドショー」「ニュース／報道」であった。リオ大会におけるTBS「情報／ワイドショー」が30時間を超えたのが特徴的であった。



図表2-8 番組カテゴリー別にみる大会別放送時間

注) 番組カテゴリーは番組自体の分類を指し、番組内コーナーは番組内で取り上げたコーナーのことを指す。例えば、ニュース番組内のスポーツコーナーでパラリンピアンについての話題を取り上げた場合、番組カテゴリーは「ニュース／報道」、番組内コーナーは「スポーツ」となる。

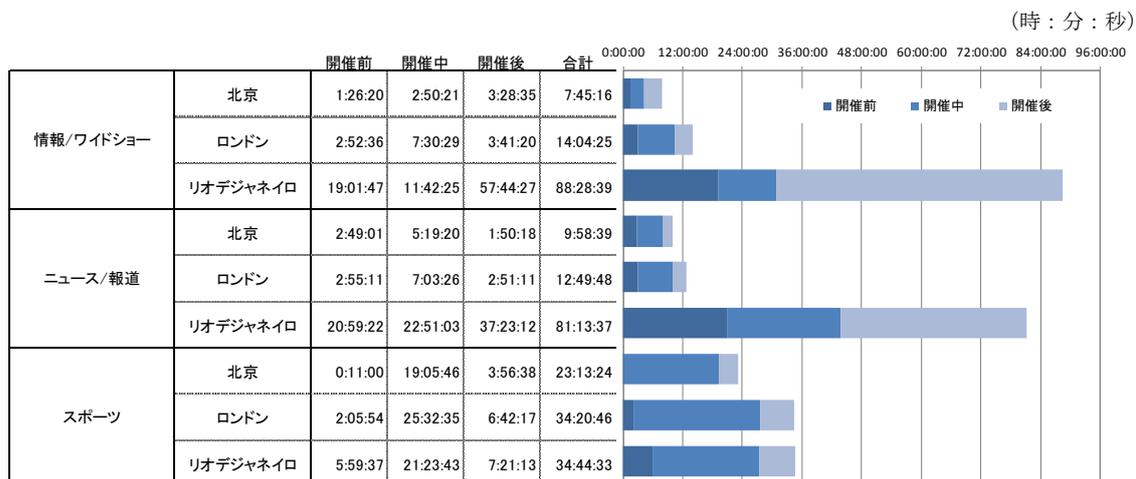
(時:分:秒)



図表 2-9 テレビ局の番組カテゴリー別にみる大会別放送時間

注) 番組カテゴリーは番組自体の分類を指し、番組内コーナーは番組内で取り上げたコーナーのことを指す。例えば、ニュース番組内のスポーツコーナーでパラリンピアンについての話題を取り上げた場合、番組カテゴリーは「ニュース/報道」、番組内コーナーは「スポーツ」となる。

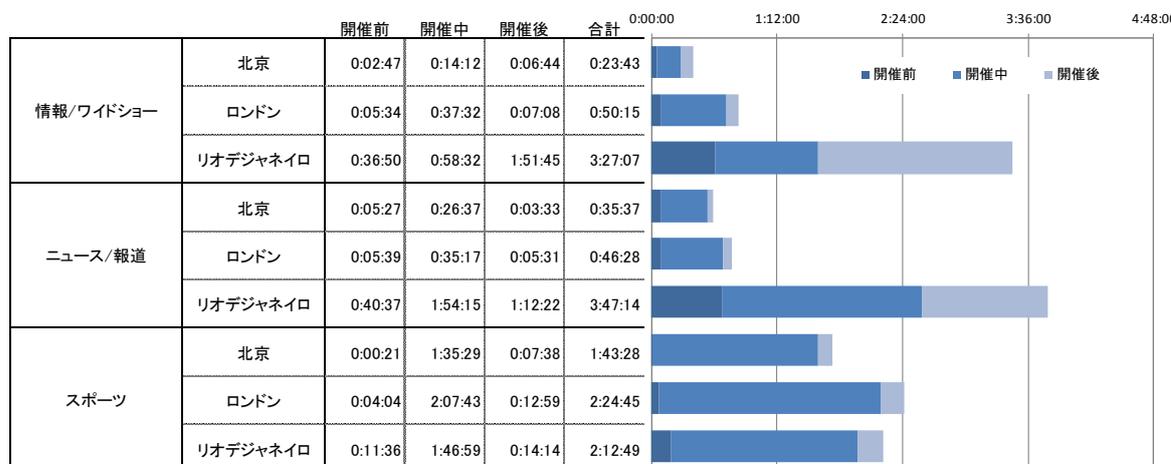
番組カテゴリー別の3大会の放送時間を「開催前」「開催中」「開催後」にわけてみると、「情報／ワイドショー」「ニュース／報道」においては、リオ大会のみ、「開催後」の放送時間が急増していたが、「スポーツ」番組は、3大会ともに、「開催中」がもっとも放送時間が多く、「開催後」に減っていた（図表 2-10、2-11）。リオ大会は、「開催前」「開催後」に「ニュース／報道」「情報／ワイドショー」でも放送されることが多かった。



図表 2-10 テレビ局の番組カテゴリー別(上位3カテゴリー)にみる大会別放送時間

注) 番組カテゴリーは番組自体の分類を指し、番組内コーナーは番組内で取り上げたコーナーのことを指す。例えば、ニュース番組内のスポーツコーナーでパラリンピアンについての話題を取り上げた場合、番組カテゴリーは「ニュース／報道」、番組内コーナーは「スポーツ」となる。

(時：分：秒)



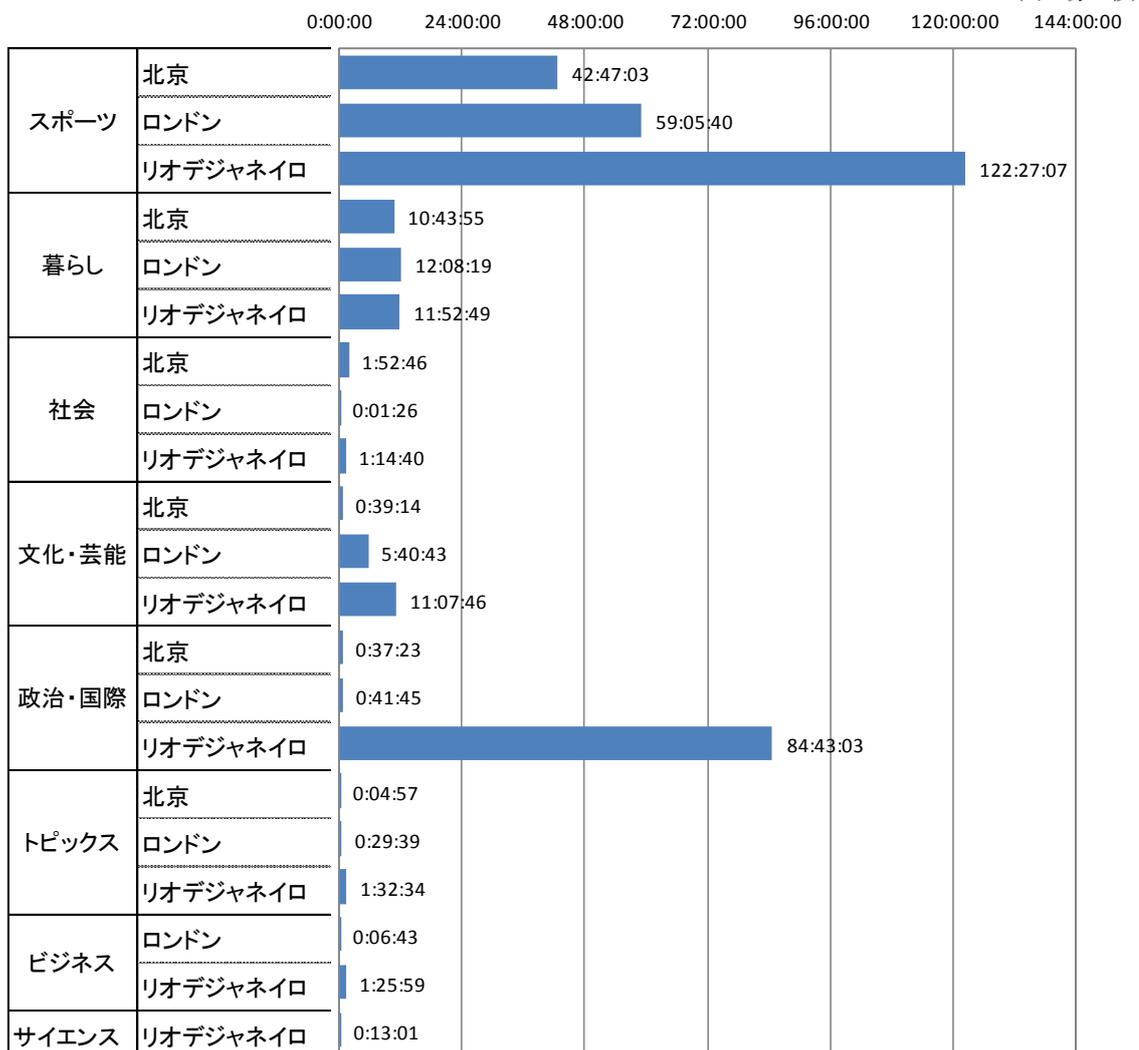
図表 2-11 テレビ局の番組カテゴリー別(上位3カテゴリー)にみる大会別一日平均放送時間

注)番組カテゴリーは、番組自体の分類を指し、番組内コーナーは番組内で取り上げたコーナーのことを指す。例えば、ニュース番組内のスポーツコーナーでパラリンピアンについての話題を取り上げた場合、番組カテゴリーは「ニュース/報道」、番組内コーナーは「スポーツ」となる。

3) 番組内コーナー別にみる大会別の放送時間

番組内で取り上げられたコーナー別に3大会の放送時間をみると、過去3大会ともに「スポーツ」コーナーで取り上げられる放送時間が最も多く、その中でも、リオ大会は、北京大会(42時間47分3秒)の約3倍(122時間27分7秒)の放送時間であった(図表2-12)。また、北京大会ではほとんど取り上げられなかった「文化・芸能」コーナーにおいても、リオ大会では約11時間も取り上げられた。それに対して、「暮らし」コーナーで取り上げられる放送時間については、3大会での変化はなかった。また、北京大会、ロンドン大会でほとんど取り上げられなかった「政治・国際」コーナーにおける放送時間が、リオ大会で80時間以上に急増した。この要因は、リオ大会前に話題になったロシアのドーピング問題に関する報道であった。

(時:分:秒)



図表 2-12 番組内コーナー別にみる大会別の放送時間

注) 番組カテゴリーは、番組自体の分類を指し、番組内コーナーは番組内で取り上げたコーナーのことを指す。例えば、ニュース番組内のスポーツコーナーでパラリンピアンについての話題を取り上げた場合、番組カテゴリーは「ニュース／報道」、番組内コーナーは「スポーツ」となる。

3. リオ 2016 パラリンピック日本代表選手別の放送時間

リオ大会に出場した日本代表選手 132 人のうち、放送時間の多い上位 50 人は以下のとおりであった（図表 2-13）。

NO.	氏名	ふりがな	放送時間 合計	競技
1	山本篤	やまもと あつし	18:34:48	陸上競技
2	上地結衣	かみじ ゆい	15:34:31	車いすテニス
3	木村敬一	きむら けいいち	14:46:38	水泳
4	辻沙絵	つじ さえ	12:32:00	陸上競技
5	国枝慎吾	くにえだ しんご	11:41:45	車いすテニス
6	廣瀬隆喜	ひろせ たかゆき	9:22:53	ボッチャ
7	廣瀬順子	ひろせ じゅんこ	8:52:33	柔道
8	道下美里	みちした みさと	8:46:08	陸上競技
9	別所キミエ	べっしょ きみえ	8:11:13	卓球
10	藤澤潔	ふじさわ きよし	7:07:13	車椅子バスケットボール(男子)
11	杉村英孝	すぎむら ひでたか	6:47:29	ボッチャ
12	廣瀬悠	ひろせ はるか	6:44:59	柔道
13	香西宏昭	こうざい ひろあき	6:26:19	車椅子バスケットボール(男子)
14	藤井友里子	ふじい ゆりこ	6:21:53	ボッチャ
15	藤本怜央	ふじもと れお	6:20:41	車椅子バスケットボール(男子)
16	藤田征樹	ふじた まさき	5:43:02	自転車
17	一ノ瀬メイ	いちのせ めい	5:42:13	水泳
18	浦田理恵	うらた りえ	5:41:49	ゴールボール(女子)
19	鈴木徹	すずき とおる	5:38:47	陸上競技
20	廣瀬誠	ひろせ まこと	5:03:50	柔道
21	永田裕幸	ながた ひろゆき	4:46:05	車椅子バスケットボール(男子)
22	成田真由美	なりた まゆみ	4:40:51	水泳
23	正木健人	まさき けん	4:38:21	柔道
24	山田拓朗	やまだ たくろう	4:28:05	水泳
25	齋田悟司	さいだ さとし	4:10:11	車いすテニス
26	池透暢	いけ ゆきのぶ	4:09:36	ウィルチェアーラグビー
27	鹿沼由理恵	かぬま ゆりえ	4:07:57	自転車
28	藤井新悟	ふじい しんご	3:55:04	車椅子バスケットボール(男子)
29	津川拓也	つがわ たくや	3:53:17	水泳
30	西崎哲男	にしざき てつお	3:49:49	パワーリフティング
31	佐藤友祈	さとう ともき	3:45:23	陸上競技
32	瀬立モニカ	せりゆう もにか	3:38:18	カヌー
33	池崎大輔	いけざき だいすけ	3:37:06	ウィルチェアーラグビー
34	前川楓	まえがわ かえで	3:27:29	陸上競技
35	鳥海連志	ちょうかい れんし	3:18:39	車椅子バスケットボール(男子)
36	木谷隆行	きたに たかゆき	3:15:32	ボッチャ
37	芦田創	あしだ はじめ	3:12:57	陸上競技
38	永尾嘉章	ながお よしふみ	3:09:43	陸上競技
39	千脇貢	ちわき みつぐ	3:09:04	車椅子バスケットボール(男子)
40	池愛里	いけ あいり	3:03:29	水泳
41	藤本聰	ふじもと さとし	3:00:22	柔道
42	大西瞳	おおにし ひとみ	2:53:15	陸上競技
43	豊島英	とよしま あきら	2:46:17	車椅子バスケットボール(男子)
44	石川文則	いしかわ たけのり	2:38:51	車椅子バスケットボール(男子)
45	田中康大	たなか やすひろ	2:37:59	水泳
46	土子大輔	つちこ だいすけ	2:36:46	車椅子バスケットボール(男子)
47	鈴木孝幸	すずき たかゆき	2:35:36	水泳
48	近藤寛子	こんどう ひろこ	2:34:07	陸上競技
49	村上直広	むらかみ なおひろ	2:33:40	車椅子バスケットボール(男子)
50	宮島徹也	みやじま てつや	2:33:40	車椅子バスケットボール(男子)

図表 2-13 リオ大会での放送時間が多い選手上位 50 位

4. まとめ

東京 2020 オリンピック・パラリンピック（以下、東京大会）開催が決定した 2013 年以降、パラリンピック関連の内容を取り上げるテレビ番組が増えてきた。本調査では、北京大会、ロンドン大会、リオ大会の地上波テレビ放送時間についてみた。大会別の放送時間をみると、リオ大会は、北京大会から約 4 倍、ロンドン大会から約 3 倍の増加となり、リオ大会において急増したことがわかる。さらに、大会を「開催前」、「開催中」、「開催後」にわけてみると、「開催後」の放送時間の増加が顕著であった。リオ大会は、北京大会から約 10 倍の増加、ロンドン大会から約 7 倍の増加と、リオ大会が終了し、各テレビ局とも一斉に 2020 年の東京大会に注目を向け始めたことを示唆している。

テレビ番組のカテゴリーをみると、「情報／ワイドショー」「ニュース／報道」においては、リオ大会はロンドン大会の約 6 倍の増加を示した。一方で、「スポーツ」はロンドン大会とリオ大会で、ほとんど変わらず、「スポーツ」に分類されるパラリンピック競技中継や大会ダイジェストなどの放送時間に、それほどの変化はみられなかった。ただ、テレビ番組内のコーナー別にみると、いずれの大会においても「スポーツ」が最も多く、それらの結果から、ニュース報道、ワイドショーなどの番組内スポーツコーナーにおいて、パラリンピックが取り上げられていることが推察できる。また、北京大会、ロンドン大会でほとんど取り上げられなかった「政治・国際」コーナーにおいて、リオ大会の放送時間が 80 時間をこえたこと、その放送内容の大部分がロシアのドーピング問題に関する報道によることは看過できない事実である。

テレビ局ごとにみると、3 大会の合計放送時間は「NHK 総合」が最も多く、ついで「NHK 教育」「TBS」となっている。北京大会、ロンドン大会では、民放テレビ局における放送時間は少なく、「NHK 総合」「NHK 教育」が放送時間の大部分を占めていたが、リオ大会では民放テレビ局が放送時間を総じて増やし、「NHK 総合」も放送時間を 80 時間以上に増やした。一方で、「NHK 教育」は約 16 時間と過去 2 大会よりも放送時間が減少した。テレビ局別に番組カテゴリーをみると、「NHK 総合」はリオ大会で総じて、どのカテゴリーでも放送時間を増やしたが、特に「ニュース／報道」「スポーツ」が急増した。それに対して、「NHK 教育」は「スポーツ」における放送時間が減少した。民放テレビ局においても、「日本テレビ」は「ニュース／報道」「情報／ワイドショー」の放送時間が急増、「TBS」においては「情報／ワイドショー」の放送時間がリオ大会では北京大会の約 8 倍の増加となった。ロンドン大会では、ジャパンコンソーシアムとして NHK と民放テレビ局の共同放送であったが、リオ大会、東京大会では、NHK が独占放映権を獲得している。NHK がリオ大会において、「NHK 教育」から「NHK 総合」に放送時間の割合を大きくシフトさせたのも、NHK がパラリンピックをスポーツとして放送していく姿勢の表れだと推察できる。

リオ大会に出場した選手ごとの放送時間をみると、1 位山本篤（陸上競技）、2 位上地結衣（車いすテニス）、3 位木村敬一（水泳）、4 位辻沙絵（陸上競技）、5 位国枝慎吾（車いすテニス）と、メダリストが上位 8 位までを占めた。

（小淵和也）